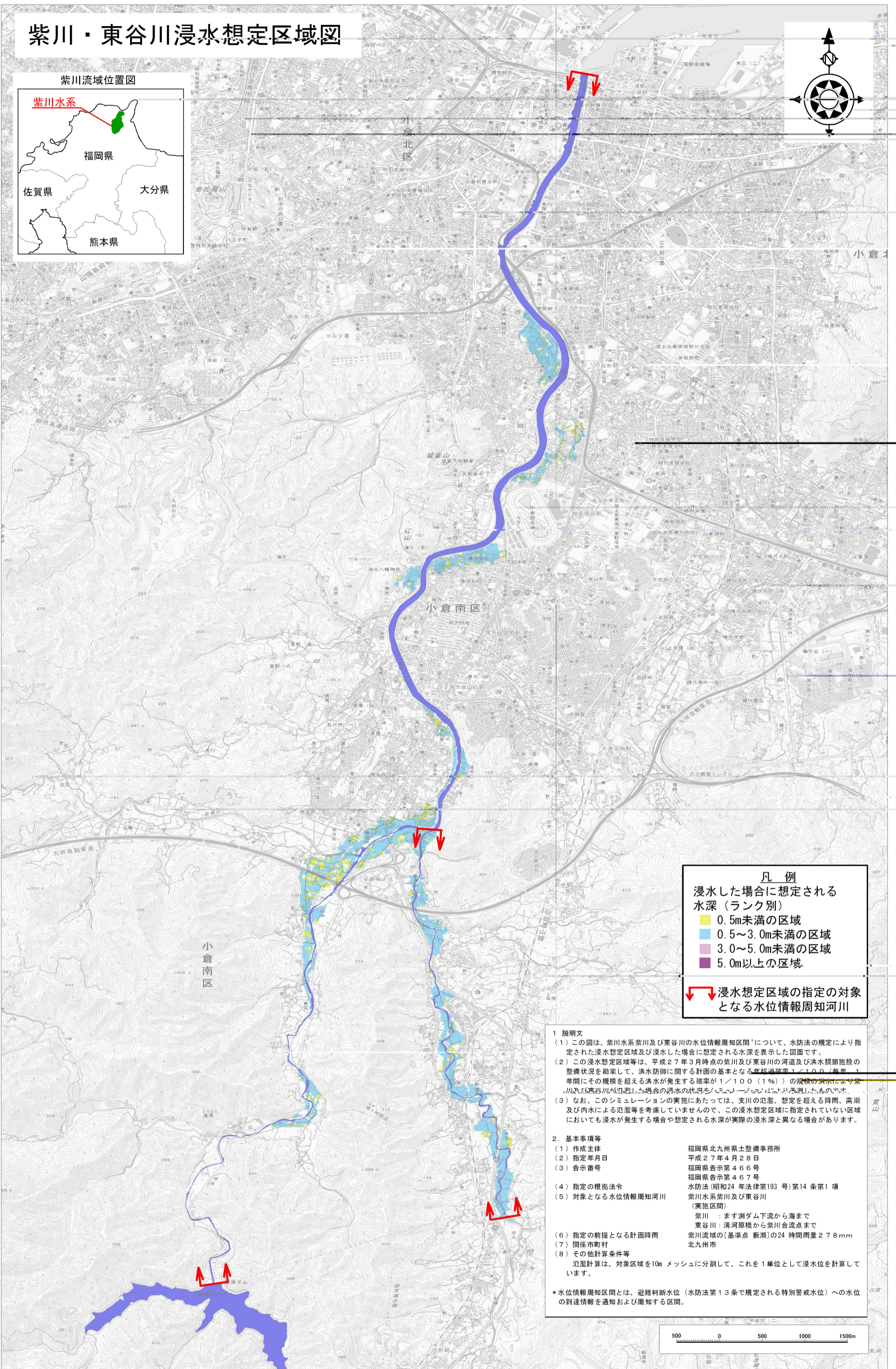
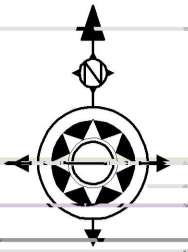


紫川・東谷川浸水想定区域図

紫川流域位置図



凡例
 浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域

↔ 浸水想定区域の指定の対象となる水位情報周知河川

1 説明文
 (1) この図は、紫川水系紫川及び東谷川の水位情報周知区間*について、水防法の規定により指定された浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 (2) この浸水想定区域等は、平成27年3月時点の紫川及び東谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる年超過確率1/100（毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の規模の洪水により紫川及び東谷川が氾濫した場合の氾濫の状況をシミュレーションにより予測したものであります。
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、想定を超える降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体	福岡県北九州県土整備事務所
(2) 指定年月日	平成27年4月28日
(3) 告示番号	福岡県告示第466号 福岡県告示第467号
(4) 指定の根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
(5) 対象となる水位情報周知河川	紫川水系紫川及び東谷川 （実施区間） 紫川：ます湖ダム下流から海まで 東谷川：清河原橋から紫川合流点まで
(6) 指定の前提となる計画降雨	紫川流域の[基準点 敷瀬]の24時間雨量278mm
(7) 関係市町村	北九州市
(8) その他計算条件等	氾濫計算は、対象区域を10mメッシュに分割して、これを1単位として浸水位を計算しています。

* 水位情報周知区間とは、避難判断水位（水防法第13条で規定される特別警戒水位）への水位の到達情報を通知および周知する区間。

